

小学校外国語科モデルプラン

第 6 学年

What do you want to be?

将来の夢・職業

We Can! 2 Unit 8



関連する領域別の学習到達目標

【話すこと】
【発表】

自分や相手の将来就きたい職業やその理由について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

【書くこと】

自分の将来就きたい職業について、例文を参考に、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。



単元ゴール

コミュニケーションの
目的・場面・状況

キャリア学習で学んできたことのまとめの一部として、自分が将来就きたい職業についてスピーチをし、その原稿を「キャリアノート」（キャリア学習のポートフォリオ集）の1ページにするために、互いに質問し合う中で内容を整理し、発表する。また、友達の発表原稿を読み、コメントを伝え合う。

目指す発話例

I want to be a vet. I like animals.
In my town, we don't have an animal hospital.
I want to be a vet in my town. I can help animals.
What do you want to be?



言語材料（下線は新出表現・語彙）

主な表現

What do you want to be?
I like animals.
I want to be a (vet).
I can (play the piano well).
I am good at (playing the piano).
That's (good).
Good luck.

主な語彙

be, luck, future, 職業(artist, astronaut, baker, bus driver, comedian, cook, dentist, doctor, farmer, figure skater, firefighter, flight attendant, florist, pianist, pilot, singer, soccer player, train conductor, vet, zookeeper)
動作, 動詞の過去形(went, ate, saw, enjoyed, was), スポーツ, 動物, 飲食物, 状態・気持ち, 身の回りの物, 教科

指導計画

第1時	<p>目標：職業を表す語を聞いて分かる。</p> <p>準備物：教師用カード（国旗・職業）、デジタル教材、児童用テキスト、写真やイラストなどの視覚資料、キャリアノート、振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶をする。	
9分 	<p>○Small Talk：行きたい国とその理由</p> <p>S1: Where do you want to go? S2: I want to go to Hawaii. S1: You want to go to Hawaii. That sounds nice. Why? S2: I like swimming. And I want to see the beautiful sea. How about you?</p>	・指導者が質問して、ペアで対話をさせる。ここでは、これまでの復習を意図して、行きたい国とその理由が話題である。	教師用カード (国旗)
15分 	<p>[Let's Watch and Think 1] (p.58-59)</p> <p>・誌面を見て、知っている職業名を発表し、職業の言い方を知る。</p> <p>・映像を見て、分かった事を□に書く。</p> <p>・質問に答える形で、話の内容を確認する。また、質問に答えて、自分の気持ちや考えを言う。</p>	<p>・映像を見せる前に、誌面を見ながら、知っている職業名を発表させ、デジタル教材を聞かせたりして、職業の言い方に出会わせる。</p> <p>・内容を予想させるなどして、聞く必然性を持たせる等しながら映像を視聴させる。</p> <p>・単なる答えの確認にならないよう、職業を題材にやり取りをしたり、指導者の質問に答えたりさせるようにする。</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (職業)
	<p>T: Where is she from? Canada? Great! Anastasia is from Russia. What's her dream? Yes. She wants to be a singer. How about you? Do you want to be a ...?</p>		
		・デジタル教材の内容から、本時のめあてへとつなげる。	
10分	<p>[Let's Play] Pointing Game (p.58-59)</p> <p>・指導者が言う職業を聞いて、誌面にある職業の絵をペアで指し示す。</p> <p>・指導者のヒントを聞いたりジェスチャーを見たりして、それがどんな職業かを言う。</p>	<p>・デモンストレーションを行い、ゲームの進め方を理解させる。</p> <p>・最初は職業名だけ、次第に I want to be a ~ と文で聞かせるようにする。</p> <p>◎職業を表す語を聞いて、それに合う絵を指し示している。<行動観察・振り返りカード点検></p> <p>・ジェスチャーや3ヒントクイズ形式でヒントを出し、その職業は何かを尋ねる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (職業)
	<p>T: What's this? (答え：pilot) Hint 1; a blue cap Hint 2; airplane Hint 3; (ジェスチャー) 等</p>		
5分	<p>○単元終末の活動を知る。</p> <p>・単元の終末では、総合的な学習の時間に取り組んできた「キャリア学習」とも関連させ、将来の夢や就きたい職業についてスピーチをし、その原稿を「キャリアノート」(キャリア学習のポートフォリオ集)の1ページとすることを確認する。</p>	<p>・指導者は、自分自身の将来の夢やしたいことについてイラストや写真を提示するなどして、単元終末の活動への見通しや意欲をもてるようにする。</p> <p>T: I'm a teacher now. In the future, (将来の年齢を黒板に書く) I want to be a florist. (絵カードを見せる) I like flowers very much. I'm good at gardening. So I want to be a florist.</p> <p>・キャリアノートに綴じた原稿を見せる。</p>	写真やイラスト キャリアノート
4分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。	振り返りカード
1分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

第2時	目 標：職業についてまとまった話を聞いて理解したり，就きたい職業を言ったりすることができる。 準備物：教師用カード（職業），デジタル教材，児童用テキスト，ワークシート（Unit8-1），振り返りカード
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し，個別に数名の児童にも挨拶をする。	
3分 	○Small Talk：行きたい国とその理由 対話例：第1時と同様	・指導者が質問して，ペアで対話をさせる。 ここでは，これまでの復習を意図して，行きたい国とその理由が話題である。 ・第1時とは別のペアでやり取りさせる。	
6分 	[Let's Chant] What do you want to be? (p.58)	・「字幕なし」「音声なし」で映像のみを見せ，どんな表現が登場するか予想させる。 ・次に，「字幕なし」で音声を聞かせ，聞こえた語を児童と確認してから，一緒にチャンツを言う。 ・チャンツの内容から，本時のめあてにつなげる。	デジタル教材
10分 	[Let's Watch and Think 2] (p.60) ・映像を見て，分かったことを□に書く。 1回目：Laksh 2回目：Christina	・第1時の活動と同様に，音声を聞かせる前に内容を予想させる。 ◎職業についてまとまった話を聞いて理解し，分かったことを書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>	デジタル教材 児童用テキスト
15分 	○先生の夢を知ろう ・指導者の紹介を聞いたり，指導者の質問に答えたりする。	・指導者が自分の夢について話す。	デジタル教材 教師用カード（職業）
	<p>T: Look. (小学6年生のころの写真を見せる) This is me. I was 12 years old. My dream was a pianist. (絵カードを貼る) Now I'm a teacher. In the future, (将来の年齢を黒板に書く) I want to be a florist. (絵カードを見せる) I like flowers very much. I'm good at gardening. So I want to be a florist. How about you? What do you want to be? Do you want to be a florist / teacher / pianist? (カードを指しながら数名の児童に尋ね，答えさせる) Oh, you want to be a doctor. Great! You want to be a ~. I want to be a florist. (繰り返し下線の表現を聞かせ，児童がI want to be a ~.と答えられるようにする) I want to be a florist. Why? I like flowers. I'm good at gardening. (理由の表現にも触れる)</p>		
	○ペアで伝え合おう ・ペアで自分が就きたい職業を言い合う。	・ペアになり，就きたい職業を言い合うよう伝える。 ◎就きたい職業を言っている。<行動観察・振り返りカード点検>	
6分 	[Let's Read and Write 2] ①(p.64) 書く文例：I want to be (a pilot). ・音声を聞きながら読んだ（言った）後，ワードボックスから言葉を選んで書き写す。	T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do you want to be? Please choose the word(s) from the word box and complete the sentence.	ワークシート (Unit8-1)
3分	・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。	振り返りカード
1分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

第3時	<p>目 標：将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由が分かる。 就きたい職業とその理由について伝え合う。</p> <p>準備物：教師用カード（職業）、デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード</p>
-----	--

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶をする。	
3分 	○ Small Talk : Who is your hero? S1: Who is your hero? S2: It's my brother. S1: Oh, your brother. Why? S2: He can play the guitar well. S1: Oh, he is so cool! S2: How about you? Who is your hero?	・指導者が質問して、ペアで対話をさせる。ここでは、本単元との関連を意識して、5年生の単元で扱った自分にとってのヒーローを紹介する。 ・ペアを何度か変えながら、表現を整理したり、評価をしたりすることを繰り返し、やり取りをさせるようにする。	
5分 	【 Let's Chant 】 What do you want to be? (p.58)	・まず、チャンツを聞かせ、どのような音が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから、一緒にチャンツを行う。	デジタル教材
1分	○ 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">友達は、どんな理由でその職業に就きたいのかを探ろう。</div>	・チャンツの流れを受けて、“What do you want to be in the future?”と児童に尋ねる。何人かに答えさせ、“Why?”と問い、他の児童に予想させることで、本時のめあてにつなげる。	デジタル教材
15分 	【 Let's Watch and Think 3 】 (p.60) ・映像を見て、分かったことを口を書く。	・音声を聞かせる前に内容を予想させる。 ・児童に“Rin wants to be a …?”と尋ねながら、聞き取れたことを確認する。 ◎ 将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由を書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>	デジタル教材 児童用テキスト
15分 	○ Let's Talk ・どんな職業に就きたいか、その理由も交えて友達に尋ねたり、答えたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">S1: What do you want to be? S2: I want to be a cartoonist. S1: Oh, cartoonist! Sounds nice! Why? S2: I like cartoons. I'm good at drawing pictures. S1: Yes! You can draw pictures well. Good luck! S2: Thank you. How about you? What do you want to be? S1: I want to be a soccer player. S2: Ah, soccer player. Do you like soccer? S1: Yes. I like soccer. I want to play in Sanfreccce. S2: Sounds Nice! Good dream!</div>	・映像の流れを受けて、ALT の将来の夢について尋ね、児童ともやり取りを行い、児童同士のやり取りにつなげる。 ・ペアを何度か変えながらやり取りを行う。 ・途中でやり取りを止め、相手を励ますような反応ができていないペアをモデルとして紹介したり、英語でどう表現すればよいか困っている児童を取り上げ、伝えたいことを英語でどう表現するのかを全体で考えさせたりする活動を入れ、再度別のペアでやり取りをするという流れを繰り返す。 ◎ 就きたい職業とその理由について伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検>	
4分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。	振り返りカード
1分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	


第4時	<p>目 標：得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて、伝え合う。</p> <p>準備物：教師用カード（職業）、デジタル教材、児童用テキスト、児童用カード（職業）、ワークシート（Unit8-2, 8-3）、振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶をする。	
3分 	[Let's Chant] What do you want to be? (p.58)	・言えるところを言わせ、児童と一緒に言う。	デジタル教材
10分 	[Let's Listen] (p.61) ・音声を聞いて、誰がどんな夢をもっているかを理由とともに聞き取り、分かったことを誌面の表に記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物がどんな夢をもっているかを予想させてから聞かせるなど、目的をもって聞くことができるようにする。 ・3人の登場人物が将来の夢とその理由などを話している音声を聞かせ、分かったことを表に書かせる。 ・登場人物が入れ替わり対話を進めているため、誰の話であるかが分かりにくい場合、音声を適宜止めるなどする。 ・デジタル教材の内容から本時のめあてへつなげる。 	デジタル教材 児童用テキスト
10分	<p>○3ヒント・カルタをする。</p> <p>・指導者の話（デジタル教材の内容）を聞いたり、質問に答えたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・児童4人ほどでグループになり、机に児童用カード（職業）1セットを並べ、周りに座る。 ・全員で指導者に What do you want to be? と尋ねる。指導者は、ある職業に就きたい理由を I like ~. I can ~. I'm good at ~. で言う。 ・2回目、3回目はカード裏面（英単語だけのもの）を使用し、段階的に文字に慣れていくようにする。 </div>		教師用カード（職業） 児童用カード（職業）
12分 	<p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の紹介を聞いたり、指導者とやり取りしたりする。 ・得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて、ペアで話す。 ・ペアを替えて、複数回対話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者は、得意なこと・できること、不得意なこと・できないことを、教師用カードを見せながら紹介する。一方的に言うのではなく、児童がそのことをできるかどうか、得意かどうかなどを尋ね、やり取りしながら紹介する。 ・その流れで、次に児童どうしでやり取りさせる。児童どうしの対話の合間には、言いたかったけれど言えなかったことはないか尋ねたり、それをどのように言えば良いかグループで話し合わせたりして、より詳しく伝え合うための表現を全体に広める。 ※対話の前に、対話する相手の得意なことやできること、不得意なことやできないことを予想させるなどすると、聞き手が目的をもって対話に臨むことができる。 ◎得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて、伝え合っている。 <行動観察・振り返りカード点検> 	
5分 	<p>[Let's Read and Write 2] ② (p.64)</p> <p>書く文例：What do you want to be? I am good at (dancing). I am good at (playing soccer).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>T: Please listen to the sentence and look at the words in your textbook. Listen to the sentence again and read it. Copy the words from the word box.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 8-2, 8-3)
3分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。	振り返りカード
1分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	




第5時	<p>目 標：就きたい職業について、理由を含め伝え合う。</p> <p>準備物：教師用カード（職業）、デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート（Unit 8-4, 8-6）、振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶をする。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
9分 	○ Small Talk：なりたい職業とその理由 S1: What do you want to be? S2: I want to be a tennis player. S1: You want to be a tennis player. Sounds nice. Why? S2: I like Nishikori Kei. What do you want to be?	・指導者が質問して、ペアで対話をさせる。ここでは、本単元との関連を意図して、就きたい職業とその理由が話題である。	
4分 	【 Let's Chant 】 What do you want to be? (p.58)	・リズムに乗って児童と一緒に言う。	デジタル教材
7分	○ 先生の夢をもっと知ろう。 ・将来の夢とその理由について、指導者の紹介を聞いたり、指導者とやり取りしたりする。	・指導者は、第2時で少し紹介した将来の夢とその理由をさらに膨らませ、教師用カードを見せながら紹介する。一方的に言うのではなく、児童にどのような職業に就きたいか、その理由などを尋ねながら紹介する。 T: I want to be a farmer, and I want to live in nature. I like nature. I like cooking. I want to cook my vegetables. How about you, S3? What do you want to be? ... ・児童とのやり取りから、「理由」に焦点を当て、児童が伝えたいと思っている表現について、全体で学び合えるようにする。	教師用カード (職業) 将来の夢を紹介するのに必要な写真等
10分 	○ 【Activity】 p.61 ・ペアになって、将来どんな職業に就きたいかを尋ね合う。分かったことを誌面の□に記入する。	・意欲的に取り組めるように、学級で人気が高い職業ベスト3を予想してからインタビューを始めさせたり、活動後にインタビュー結果を報告させたりする。 ・インタビューではあるが、就きたい職業だけを尋ね合うのではなく、理由を聞いたり、感想を述べたりなど、これまでの対話活動で大切にしてきた「対話を続けること」「対話を楽しむこと」を、本活動でも大切にしよう伝える。 ◎ 就きたい職業について、理由を含め伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検>	デジタル教材 児童用テキスト
5分 	【 Let's Read and Write 2 】 ③(p.64) 【書く文例：I want to be a (singer).】 ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。	T: Please listen to the sentence and look at the words in your textbook. Listen to the sentence again and read it. Copy the words from the word box.	デジタル教材 ワークシート (Unit8-4)
5分	○ Sounds and Letters ① (sh) ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある//で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線の上に sh を書く。	T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together. Look at the pictures in the textbook. Repeat the word. ・サウンド・テニスをすることを告げる。 ・最初は指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行ったり、制限時間を短くしていったりなどする。 ・ワークシートの4線の上に sh の文字を書くよう指示する。	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit8-6)
3分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。	振り返りカード
1分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

第6時	<p>目標：例を参考にして、自分の夢について書く。</p> <p>準備物：デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート (Unit8-1~8-5, 8-7), 振り返りカード</p>
-----	--

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶をする。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
20分 	<p>【Let's Read and Write 1】 (p.62)</p> <p>・誌面に書かれた Riko のスピーチ原稿を、音声が続いて読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>My dream I want to be an astronaut. I like watching the stars. I study hard. What do you want to be? Thank you. Riko</p> </div> <p>・前時までには書き写した分も参考にしながら、次の点に注意してスピーチ原稿を書き進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 4 線上に丁寧に書く。 * 大文字と小文字に気を付けて書く。 * スペース (単語と単語の間) に気を付けて書く。 * ピリオドや符号を忘れずに書く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>児童が書く原稿例</p> <p>I want to be a bus driver. My father is a bus driver. I like big cars. Thank you.</p> </div>	<p>・デジタル教材で登場人物 Riko のスピーチを聞かせる。次に、誌面 p.62 の文字を指で追いながら聞かせる。</p> <p>・ワークシートに書きためた英文や、誌面に掲載されている職業名を表す語などを参考に、スピーチ原稿を書かせる。</p> <p>T: Look at your worksheets. Write about your dream. You can find good hints on your worksheets.</p> <p>◎例を参考にして、自分の夢について書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit8-1~8-5)
15分 	<p>○Let's Read</p> <p>・班の中でスピーチ原稿を回し読み、次の点について正しく書けているか確認し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 4 線上に丁寧に書けているか。 * 単語の綴りは合っているか。 * 大文字と小文字に気を付けて書けているか。 * スペース (単語と単語の間) に気を付けて書けているか。 * ピリオドや符号を忘れていないか。 	T: Look at your worksheet. Let's read the sentences. Let's read your friends' speeches.	ワークシート (Unit8-5)
5分	<p>○Sound and Letters② (th)</p> <p>・ジングルを 1 通り聞く。</p> <p>・誌面にある/θ/で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。</p> <p>・ワークシートの 4 線上に th を書く。</p>	<p>・時間があればジングルを 1 通り聞かせる。</p> <p>・サウンド・テニスをすることを告げる。</p> <p>・最初は指導者と児童全員で行い、慣れてきたらペア対抗で行ったり、制限時間を短くしていったりする。</p> <p>・ワークシートの 4 線上に th の文字を書くよう指示する。</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit8-7)
3分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。	振り返りカード
1分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

第7時	<p>目標：例文などをもとに、語と語の間隔や大文字と小文字の使い分け、符号などに注意しながら、自分の将来の夢について、理由も含めて書く。</p> <p>準備物：デジタル教材、児童用テキスト、スピーチ原稿、振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶をする。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 	
23分  	<p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に書いた将来の夢を自分で読んでみる。 聞き手は感想の言葉を付け加えたり、質問をしたりしながら聞く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>原稿例</p> <p>I want to be a pianist. I like playing the piano. I want to have a piano concert. Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>聞いた後のコメント例</p> <p>A: You want to be a pianist. That's good. Do you play the piano well? B: Yes. I am good at playing the piano. A: Sounds good. What songs do you like? …</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> できる限り全員のスピーチが聞けるようにする。 学級の人数によっては、グループではなく、学級全体の前で発表させてもよい。 原稿はもってもよいが、話すときは聞き手の方を見るよう指導し、原稿を読む活動にならないようにする。 話す時に表情や身振り手振りを工夫している児童を取り上げ評価する。 次時では、クラスメートの原稿を読んでだれの原稿か当てるという活動を行う。そのため、この段階では名前を書かないように指示する。 指導者が発表を聞いた後のやり取りのデモンストレーションをすることで、会話の見通しを持たせる。 机間指導をし、アイコンタクトや反応など、他者に配慮している児童を取り上げ、評価する。 	スピーチ原稿
17分 	<p>○Let's Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート（4線）に、スピーチ原稿を清書する。 スピーチ内容に合う絵や写真を入れる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>児童が清書する原稿例</p> <p>I want to be a bus driver. My father is a bus driver. I like big cars. Thank you.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 次時に行う Let's Read のために、自分の名前は書かないよう指示する。 どの児童も共通して書く部分は、なぞり書きができるように、あらかじめ薄文字で書かれたものも準備するなど、児童の実態に応じて個別の支援をするとよい。 清書したものを回収する。 語と語の間や大文字と小文字の使い分けに留意するように伝える。 <p>◎例を参考にして、自分の夢について書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	スピーチ原稿
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 	振り返りカード
1分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	

第8時	<p>目 標：将来の夢について書かれた原稿を読み，内容が分かる。</p> <p>他者に配慮しながら，将来の夢について伝え合おうとする。</p> <p>準備物：教師用カード（職業），デジタル教材，児童用テキスト，スピーチ原稿，付箋，キャリアノート，振り返りカード</p>
-----	--

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し，個別に数名の児童にも挨拶をする。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 	
15分 	<p>○Let's Read</p> <ul style="list-style-type: none"> クラスの友達のスピーチ原稿を読む。 内容について，励ましになるコメントやアドバイスを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 清書したスピーチ原稿を集め，本人の手元に自分の原稿が戻らないよう，児童の原稿をランダムに配布する。 班にしてそれぞれが原稿を読み，付箋にコメントやアドバイスを書いた後，班で交換してさらに他の友達の原稿を読む。（数人分の原稿を読むことになる） ◎将来の夢について書かれた原稿を読んで内容を捉え，書き手を見つけている。 <行動観察・振り返りカード点検> 	スピーチ原稿 付箋
10分 	<p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰のスピーチ原稿かを考え，本人だと思う人のところへ行き，やり取りをする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>児童のやり取り例</p> <p>S1: Is this yours? Do you want to be a bus driver?</p> <p>S2: Yes, that's right! I want to be a bus driver.</p> <p>S1: Oh, it's nice. But why?</p> <p>S2: My father is a bus driver. And I like big cars.</p> <p>S1: Oh, really! You can be a nice bus driver! Good luck!</p> <p>S2: Thank you very much!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 本人だと思ふ人のところへ行き，正解したら，内容についてのやり取りを行う。 やり取りをして，さらに分かった事を発表させる。 	スピーチ原稿
8分 	<p>[Let's Watch and Think 4] (p.64)</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像を見て，働く人たちの話から，分かったことや感じたことを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の一環として活用する。 本活動では，本人も夢をもって日々生きていることを子供たちに理解させる。 聞こえた言葉から発表させ，ペアやグループでの話し合いも取り入れた後，数回聞かせる。 児童の「なんとなく分かった」という気持ちを大切に，中学校での英語科に期待する気持ちを育てる。 	デジタル教材 児童用テキスト
8分	<p>[STORY TIME] (p.65)</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材からライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を2~3回聞く。 音声の後に続いて言う。 ライム（押韻）している単語だけを読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 本単元で学習した表現が含まれている文を読むようにし，ライム（押韻）を通して音の復習と母音への気付きを高める。 	児童用テキスト
2分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入し，発表する。 ※「キャリアノート」（キャリア学習のポートフォリオ集）に，原稿と友達からのメッセージをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらい・振り返りの視点を確認して記入させ，児童の活動を評価・称賛する。 「総合的な学習の時間」との関連を図る。 	振り返りカード キャリアノート 付箋
1分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	